



本校教育目標

考え深い子

- ・基礎基本を身に付け、活用できる子
- ・意欲的に取り組み、仲間と学び合い、問題解決の力を高めていく子

思いやりのある子

- ・相手の気持ち、周りの状況を考えた言動のできる子
- ・自己及び他者の存在を認め、感謝の心をもつ子

たくましい子

- ・命を大切にし、心身ともに健康な子
- ・自ら、考え、判断し、よりよく解決しようとする気力、知力、体力のある子

知・徳・体の調和のとれた子どもの育成

令和8年度の教育目標

笑顔があふれ 子どもたちの声が響く学校

～「いきいき」「にこにこ」「すくすく」な八南っ子を育てる～

「いきいき」いきいきと学ぶ子

○授業や行事などの活動に主体的に取り組み、自らを高めようとする子

- ・子どもが主体的に学ぶ授業を考えていく。(教師は教え過ぎない、しゃべり過ぎない)
- ・先導者から「伴走者」を意識した教師の役割。
- ・タブレット端末を活用する授業の推進(Compass'26の利用)。
- ・UD(ユニバーサルデザイン)の考えを取り入れたわかりやすい授業づくり。
- ・学びたい、学びやすい課題や発問、学習形態(ペア・グループ学習・自由意見交流)を工夫する。
- ・個別最適な学び(複線型、自由進度型等の実践)と協働的な学びを組み合わせた授業づくり
- ・基礎学力を重視し、学びのベースをつくる。
- ・家庭学習で自主学習を積極的に導入していく。
- ・やらされる行事ではなく、子どもが自分からやってみようと思える行事にしている。(子どもに任せる場面をつくる)
- ・めあてづくりや振り返りを重視した取り組みをする。結果よりも過程を大切にしている。

「にこにこ」にこにこと過ごす子

○集団の中で安心して過ごすことができ、自分や友達を大切にできる子

- ・居心地が良く、安心できる学級づくり(ルールとリレーションを大切に学級、関係づくりの活動(アドジャン等)を週1回は行う)
- ・学年で学年の子どもを育てる。(高学年での教科担任制の実施、朝帰りの会等での担任交代)
- ・子どもの特性、困り事をとらえて、その子に合った支援を工夫していく。
- ・家庭との連絡を密にし、連携を大切にする。
- ・専門家(SSW、SC等)の協力も得て、チームで子どもを支援する。
- ・「心の健康観察」(週1回)や生活アンケート(学期に1回)等で、子どもの不安や悩みをつかむ。
- ・個々の良さが発揮でき、認め合う場をつくる。
- ・いじめは絶対に許さないという風土づくりといじめ事案には、早期に組織で対応する。
- ・ペア交流や異学年交流で、年齢の異なる相手を思いやる心を育てる。

「すくすく」すくすくと育つ子

○健康や安全に気をつけて生活でき、心や体を強くしようとする子

- ・「ばっちリズム」の取り組みを通して、家庭での生活習慣を整えられるようにする。
- ・「レッツゴー放課」は、外に出て遊ぶように働きかけ、外で元気よく遊ぶ楽しさを実感させる。
- ・運動量を確保し、運動する楽しさ知り、体力や技能を高められる体育の授業を実践する。
- ・「心の健康観察」や毎日の健康観察で、自分の心や体の状態を正しく見つめられるようにする。
- ・PTA活動、児童会活動とタイアップして、あいさつ運動を行い、あいさつのできる子を育てる。
- ・「八南っ子5つの約束」をもとにして、基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・食物アレルギー対策に全校体制で取り組む。
- ・防災教育、防犯教育を計画的に実行する。
- ・保護者、地域と協力をして交通安全・登下校指導を行う。

「目指す教師像」

- 子どもに寄り添う教師
- 子どものがんばりを認める教師
- 子どものよさを生かす教師
- 指導技術を高める教師
- 保護者、地域から信頼を得る教師
- 「チーム八南」として支え合う教師
- ワークライフバランスを大切にしている教師

○子どもと接する時の基本姿勢

- ・コーチング(傾聴、質問、承認)とウエイティング(待つ姿勢)
- ・自己決定、自己選択させる場の設定
- ・子どもの把握(日常の観察・対話、日記、アンケート等)
- ・ほめること中心。叱る≠怒る(子どもが理解し、納得できる指導)
- ・一人一人が活躍できる場づくり(係、当番活動、委員会活動、授業場面 他)
- 授業技術・実践意欲の向上につながる現職研修の実施(全校研、指導員訪問、一研、特別支援教育の研修、アレルギー研修等)
- 「報(報告)・連(連絡)・相(相談)」の徹底と組織で対応
- 働き方改革の継続(勤務時間管理、授業時数の適正化、会議の精選、教育活動の見直し等)

安全に、安心して学ぶことのできる環境づくり

- 学校施設・設備の点検(月1回)と速やかな修繕
- 特別支援教育の重視(特別支援学級・通級教室の設置、入級・教室環境のUD化)
- 心を落ち着かせる場(「たけのこルーム」)の確保
- 暑さ対策(熱中症指数の測定、ガイドラインの順守、登下校時の対策)
- 感染症対策(手洗い・うがいの励行、室内換気)
- 災害時における安全優先の対応
- 学校駐車スペース利用ルールの明確化

家庭との連携・協力(保護者から信頼される学校)

- 情報発信(校長室だより、ホームページ、学年通信、各案内文書)
- PTA活動での連携(学校委員会、PTA行事等)
- 学校公開日の設定(授業参観、運動会、学習発表会、各学期に公開日)
- 保護者の声を聞く(学年・学級懇談会、個人面談、個人懇談会、学校評価アンケート、アンケート箱の設置)、日常での保護者との連絡
- 登下校時の安全指導(地区別保護者会による通学班編成、PTA立哨活動、必要時の保護者の付き添い)

地域との連携・協力(地域とともにある学校)

- 地域の声を学校運営に反映
- 学校運営協議会の設置(年4回)、民生委員との情報共有(月1回)
- 学校ボランティアとの協力
 - ・八南防犯パトロール
 - ・更生保護女性会
 - ・「おはなしタンポポ」
 - ・八南おやじの会
 - ・図書掲示、花壇、家庭科、クラブ、田んぼ各ボランティア
 - ・白川をこよなく愛する会
- 情報発信(地域回覧板での案内、ホームページ)
- 運動会等の地域開放
- 災害時の避難所設営・運営協力